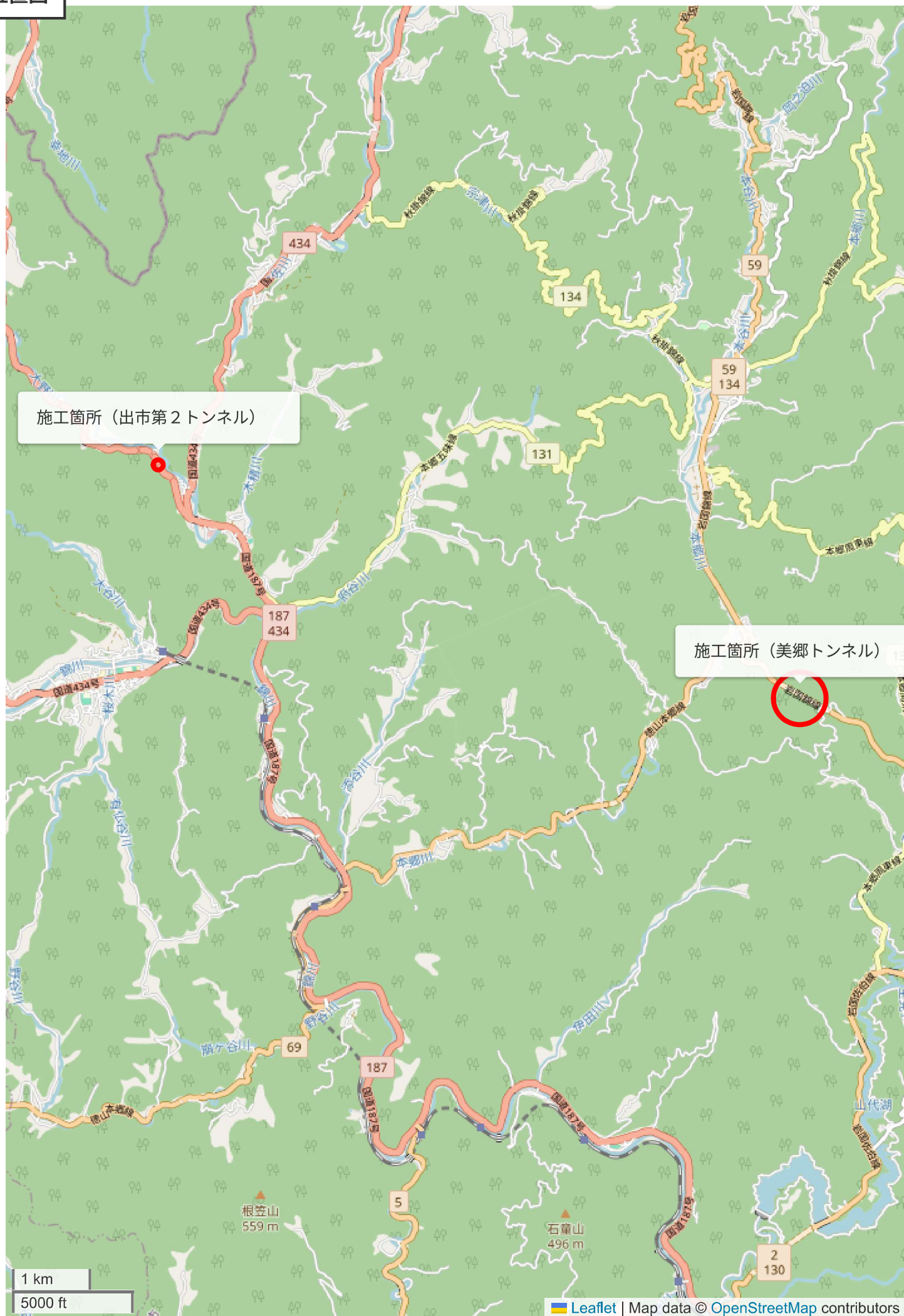


工 事 概 要 書

施 工 年 度	令和 8 年度							
工 事 名	令和8年度 一般国道187号(出市第2トンネル)外 トンネル(長寿命化メンテ 修繕)工事 第1工区							
工 事 場 所	岩国市錦町中ノ瀬外	地内						
工 期	着手の時期： 令和 年 月 日 完了の時期： 令和 年 月 日	施工日数： 約7 箇月間						
見 積 条 件	別紙「見積仕様書」のとおり。							
工 事 内 容	(工事概要) トンネル補修 2トンネル <table><tr><td>炭素繊維シート工</td><td>256㎡</td></tr><tr><td>FRPメッシュ工</td><td>137㎡</td></tr><tr><td>裏込め注入工</td><td>44m3</td></tr></table> この案件は、令和8年の11月議会(定例会)において、繰越明許費の議決が得られない場合、入札を取り止めます。		炭素繊維シート工	256㎡	FRPメッシュ工	137㎡	裏込め注入工	44m3
炭素繊維シート工	256㎡							
FRPメッシュ工	137㎡							
裏込め注入工	44m3							

位置図



項目	明示事項		条件等	
工程関係	1. 関連する別途発注工事による施工時期、全体工期への影響	有 ☒	無 ☐	他工事名 (令和7年度主要県道岩田線(美郷トンネル)トンネル(長寿命化メンテ 修繕)工事第1工区) 発注者 (岩国土木建築事務所) 他工事内容 (トンネル補修) 影響箇所 (美郷トンネル) 影響期間、時間 (関連工事施工時) 影響内容 () 備考 (特記仕様書参照)
	2. 施工時期、施工時間、施工方法等の制限	有 ☐	無 ☒	制限される施工内容 () 施工箇所 () 施工時期、時間 () 施工方法 () 備考 ()
	3. 関係機関との協議が未成立のもの	有 ☐	無 ☒	関係機関等 () 制約を受ける内容 () 協議内容 () 成立見込み時期 () 備考 ()
	4. 関係機関との協議により付された条件 (現場条件の変更に伴う、条件の変更については、別途協議することとする。)	有 ☐	無 ☒	関係機関等 () 影響項目 () 影響範囲 () 影響内容 () 影響期間、時間 () 備考 ()
	5. 工事着手までの余裕期間	有 ☐	無 ☒	☐ 発注者指定方式 (工事着手日 :) ☐ 任意着手方式 (工事着手期限日 :)
	6. 地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査または移設	有 ☐	無 ☒	項目 () 管理者 () 調査期間 () 移設期間 () 備考 ()
	7. 設計工程上見込んでいる条件(準備期間、後片付け期間、供用係数、雨休率、作業不能期間、施工班数)(標準工期試算式で算定した工期は、準備期間、後片付け期間、休日、天候等による作業不能日を含む)	有 ☒	無 ☐	☐ 積上げ法による工期算定 ☐ 準備期間(〇〇日) ☐ 後片付け期間(〇〇日) ☐ 供用係数(〇.〇) ※港湾・海岸工事の場合に明示 供用係数: 休日と荒天日等による作業不能日を見込むための係数 ☐ 雨休率(〇.〇) 雨休率: 休日と天候等による作業不能日を見込むための係数 ☐ 作業不能期間(〇〇日) ☐ 施工班数(〇〇工:〇班、〇〇工:〇班) ☒ 積上げ法以外の工期算定(標準工期試算式による場合等) 備考 ()
	8. 現場条件による工法の制限	有 ☐	無 ☒	対象工種 () 影響範囲 () 影響内容 () 影響期間、時間 () 備考 ()
	9. 現場施工着手までの工事一時中止期間	有 ☐	無 ☒	中止箇所 () 中止期間 () 中止内容 () 再開予定時期 () 備考 ()

項目	明示事項		条件等
工程関係	10. 週休 2 日工事の適用 (「有」の場合の詳細は週休 2 日工事の実施要領 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/23345.htmlによる)	有 ☒	無 ☐ ☑ 週休 2 日工事 (現場閉所型) ☐ 週休 2 日工事 (交替制) ※本欄の内容は、受発注者協議により変更できる場合もある (実施要領を参照すること)
	11. 猛暑対策に係る協議の実施	有 ☐	無 ☒ ※「有」の場合、契約後速やかに発注者と協議を行う。 ※協議内容は「入札条件及び指示事項」を参照。
	12. その他	有 ☐	無 ☒
用地関係	1. 工事用地、補償物件の未処理部分	有 ☐	無 ☒ 場所、物件 () 範囲 () 処理見込み時期 () 影響工種 () 備考 ()
	2. 工事用地等の使用終了後の復旧条件	有 ☐	無 ☒ 場所、範囲 () 復旧完了予定日 () 復旧条件 () 備考 ()
	3. 用地借地条件等	有 ☐	無 ☒ 場所、範囲 () 期間 () 使用条件 () 借地条件 () 備考 ()
	4. 県有地使用指定の場合の条件等 (県が県有地の使用を指定した場合、占用料は免除とする。)	有 ☐	無 ☒ 場所、範囲 () 期間 () 使用条件 () 復旧条件 () 備考 ()
	5. その他	有 ☐	無 ☒
公害対策関係	1. 施工方法の制限	有 ☐	無 ☒ ☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 排出ガス ☐ その他 () 対象工種 () 施工方法 () 施工時期、時間 () 制限内容 () 備考 ()
	2. 水替・流入防止施設	有 ☐	無 ☒ 対象工種 () 内容 () 排水期間、時間 () 備考 ()
	3. 濁水、湧水、油漏れ等の処理 (特別な対策を要するもの)	有 ☐	無 ☒ 対象工種 () 内容 () 期間 () 備考 ()

項目	明示事項		条件等
公害対策関係	4. 事業損失関係の事前・事後調査	有 ☐	無 ☒ ☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 地盤沈下 ☐ 地下水 ☐ 電波障害 ☐ その他 () 調査時期 () 調査範囲 () 調査方法 () 備考 ()
	5. その他	有 ☐	無 ☒ ()
安全対策関係	1. 交通安全施設等の指定	有 ☐	無 ☒ 交通安全施設 () 内容 () 期間 () 備考 ()
	2. 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の近接作業	有 ☐	無 ☒ ☐ 鉄道 ☐ ガス ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ その他 () 工法制限 () 時間制限 () 備考 ()
	3. 危険要因に対する防護施設等	有 ☐	無 ☒ ☐ 落石 ☐ 雪崩 ☐ 土砂崩壊 ☐ 土石流 ☐ その他 () 防護施設 () 内容 () 期間 () 備考 ()
	4. 交通規制及び交通誘導警備員の配置	有 ☒	無 ☐ 規制範囲 (全工種) 期間、時間 (施工期間中) 備考 ()
	5. 安全監視船（警戒船）の配置	有 ☐	無 ☒ 時期、時間 () 備考 ()
	6. 発破作業制限	有 ☐	無 ☒ 防護工制限 () 作業時間制限 () 備考 ()
	7. 換気設備（有毒ガス、酸素欠乏対策として特に必要なもの）	有 ☐	無 ☒ 危険要因 () 内容 () 備考 ()
	8. 高所作業における対策	有 ☐	無 ☒ 内容 () 備考 ()
	9. 砂防工事における現場条件	有 ☐	無 ☒ 地形・地質特性 () 危険要因 () 対策内容 () 備考 ()
	10. その他	有 ☐	無 ☒

項目	明示事項		条件等
工 事 用 道 路 関 係	1. 搬入路としての一般道路の使用制限	有 ☐	無 ☒ 搬入経路 () 使用期間・時間帯 () 制限内容 () 使用中使用後の処置 () 備考 ()
	2. 仮設道路の設置条件	有 ☐	無 ☒ 一般通行： ☐ 有 ☐ 無 安全施設内容 () 安全施設期間 () 維持補修内容 () 維持補修時期、頻度等 () 工事完了後の処置： ☐ 存置 ☐ 撤去 ☐ その他 備考 ()
	3. 工事用道路の共用及び使用制限	有 ☐	無 ☒ 工事用道路管理： ☐ 本工事 ☐ 他工事 他工事名 () 期間 () 使用制限 () 備考 ()
	4. その他	有 ☐	無 ☒
仮 設 備 関 係	1. 仮設物の転用	有 ☐	無 ☒ 仮設物： ☐ 引継 ☐ 引渡 仮設物 () 施工者： ☐ 本工事 ☐ 他工事 引継、引渡時期 () 維持管理等条件 () 備考 ()
	2. 仮設物の兼用	有 ☐	無 ☒ 仮設物 () 兼用工事名 () 維持管理等条件 () 備考 ()
	3. 仮設物の構造、施工方法の指定	有 ☐	無 ☒ 仮設物 () 構造 () 施工方法 () 備考 ()
	4. 仮設物の設計条件の指定	有 ☐	無 ☒ 仮設物 () 設計条件 () 備考 ()
	5. その他	有 ☐	無 ☒

項目	明示事項		条件等	
建設機械関係	1. 建設機械の指定 ※本欄で建設機械の機種、規格等を特に指定しない限り、受注者の任意とする。 (本欄で指定しないもので、仕様書に記載されている建設機械の機種、規格は積算上参考として記載しているものである。)	有 ☐	無 ☒	名称 () 機種・規格 () 内容 ()
	2. その他	有 ☐	無 ☒	()
I C T 活用工事	1. I C T の活用 (「有」の場合の詳細は各ICT実施要領 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/23398.html による) (「無」の場合であっても契約後に受注者から I C T 活用工事の実施の申し出があった場合は、受発注者の協議により実施することができる)	有 ☐	無 ☒	☐ 発注者指定型 ☐ 河川堆積土砂撤去工事 (ICT土工) ☐ 路盤工事 (ICT舗装工) ☐ 植生工事・吹付工事・吹付法砕工事 (ICT法面工) ☐ その他の工種 () ☐ 受注者希望型 ※実施の可否及び内容は、契約後、協議により決定する。
	2. その他	有 ☐	無 ☒	()
建設副産物関係	1. 建設発生土	有 ☐	無 ☒	☐ 現場内流用 () ☐ 工事間流用 () 発注機関： () 工事名： () 場所： () 運搬距離： () ☐ 仮置き 場所： () ☐ 公共残土処理場への指定処分 場所： () 運搬距離： () ☐ 民間残土処理場へ搬出 場所：別紙「民間残土処理場（承諾済み）一覧表」のよる ☐ 上記以外の受入地への搬出 指定場所： () 運搬距離： () ☐ 搬出条件 内容 () ※受入可能時期・時間、押土・整地必要など
	2. 建設搬入土（他工事からの搬入）	有 ☐	無 ☒	工事名 () 工事場所 () 搬入条件 () 試験費等 () 備考 ()

R081001適用

項目	明示事項		条件等
支 障 物 件 等	1. 占用支障物件	有 ☐	無 ☒ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ その他 () 管理者 () 位置 () 移設時期 () 工事方法 () 防護方法 () 備考 ()
	2. 占用物件との重複工事	有 ☐	無 ☒ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ その他 () 管理者 () 影響期間 () 影響範囲 () 影響工種 () 備考 ()
	3. その他	有 ☐	無 ☒
コ ン ク リ ー ト 品 質 確 保	1. 「コンクリート構造物品質確保ガイド」を適用する構造物 ※「コンクリート構造物品質確保ガイド」は、下記Webページの最新版を参照 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/23395.html	有 ☐	無 ☒ 対象構造物 () 受注者は、監督職員と打合せの上、以下の対応を行うこと。 ①材料等によるひび割れ抑制対策の確認 (図面、ガイド第2節を参照) ②コンクリート施工記録の作成・提出 (ガイド第4節を参照) ③ひび割れの初期観察・観察、調査および補修 (ガイド第4節を参照。補修費用は原則として受注者が負担)
	2. コンクリート打込み時期の制限 (ひび割れ抑制に関するもの)	有 ☐	無 ☒ 対象構造物 () 打込み禁止期間 (月 日 ~ 月 日)
	3. その他	有 ☐	無 ☒
薬 液 注 入 関 係	1. 薬液注入	有 ☐	無 ☒ 設計条件 () 工法区分 () 注入材料 () 注入量 () 施工範囲 () 注入圧 () 施工方法の指定 () 材料管理方法 () 施工管理方法 () 地下埋設物の防護方法 () 備考 ()
	2. 周辺環境への影響調査	有 ☐	無 ☒ 調査内容 () 調査頻度 () 備考 ()
	3. その他	有 ☐	無 ☒

項目	明示事項		条件等	
(場所打杭ボーリング)	1. 作業時間制限	有 ☐	無 ☒	作業時間 (h ~ h)
	2. 杭の継手	有 ☐	無 ☒	☐ 溶接継手 () ☐ その他 ()
	3. チェックボーリング	有 ☐	無 ☒	本数 (内訳書、特記仕様書等参照) 深度 (内訳書、特記仕様書等参照)
	4. 溶接継手の品質管理	有 ☐	無 ☒	☐ 試験片による引張、曲げ試験 ☐ X線透過試験 ☐ 超音波探査試験 ☐ その他
	5. その他	有 ☐	無 ☒	
グ集水井及び集排水ボーリング	1. 水文調査	有 ☐	無 ☒	☐ 既存井戸 ☐ 湧水池 ☐ ため池 ☐ 既存調査孔 ☐ その他 () 調査範囲 () 調査期間 () その他 ()
	2. コア採取	有 ☐	無 ☒	ロータリー式ボーリングによるオールコア採取 ☐ 有 ☐ 無 その他 ()
	3. その他	有 ☐	無 ☒	
アンカー工	1. チェックボーリング	有 ☐	無 ☒	ロータリー式ボーリングによるオールコア採取 ☐ 有 ☐ 無 その他 ()
	2. その他	有 ☐	無 ☒	
根固めブロック工	1. 技術基準等の式に基づいて設計した場合の条件	有 ☐	無 ☒	ブロック1個当たりの必要重量W ($W \geq \bigcirc \bigcirc \text{ t}$) 敷設延長L (河川縦断方向) ($L \geq \bigcirc \bigcirc \text{ m}$) 敷設幅B (河川横断方向) ($B \geq L_n + \angle Z / \text{Sin}30^\circ$) ただし、Ln：ブロック1個分の幅 (m) $\angle Z$ ：根固ブロック敷設高から最深河床の評価高までの高低差= $\bigcirc \bigcirc \text{ m}$
	2. 類似河川の実績等を根拠に設計した場合の条件	有 ☐	無 ☒	ブロック規格 (公称重量 $\bigcirc \text{ t}$) 敷設延長L (河川縦断方向) ($L \geq \bigcirc \bigcirc \text{ m}$) 敷設幅B (河川横断方向) ($\bigcirc$ 列)
	3. その他	有 ☐	無 ☒	

項目	明示事項		条件等	
その他	1. 工事用資機材の保管・仮置き	有 ☐	無 ☒	資機材名 () 場所 () 期間 () 保管・仮置き方法 () 備考 ()
	2. 現場発生品	有 ☐	無 ☒	品名 () ☐ 再使用有 ☐ 再使用無 引渡場所 () 引渡時期 () 備考 ()
	3. 支給品 約款第 1 5 条事項	有 ☐	無 ☒	品名 () ☐ 返納有 ☐ 返納無 引渡場所 () 引渡時期 () 備考 ()
	4. 関係機関・自治体との近接 協議に係る条件	有 ☐	無 ☒	関係機関等名称 () 条件 () 内容 () 期間 () 備考 ()
	5. 架設工法の指定	有 ☐	無 ☒	施工方法 () 施工条件 () 施工時期 () 備考 ()
	6. 工事用電力の指定	有 ☐	無 ☒	内容 () 条件 () 備考 ()
	7. 新技術・新工法・特許工法 等の指定	有 ☐	無 ☒	内容 () 条件 () 備考 ()
	8. 工事目的物の部分引渡	有 ☐	無 ☒	引渡箇所 () 引渡時期 () 備考 ()
	9. 工事目的物の部分使用	有 ☐	無 ☒	使用箇所 () 使用時期 () 備考 ()
	10. 給水の必要	有 ☐	無 ☒	関係機関 () 取水箇所 () 取水方法 () 取水時期 () 備考 ()
	11. 特殊材料の指定	有 ☐	無 ☒	材料 () 対象工種 () 備考 ()
	12. 工事関係者連絡会議の設 置	有 ☐	無 ☒	工事関係者連絡会議： ☐ 有 ☐ 無 時期、頻度 ()
	13. 資材及び機械搬入方法等 の制限	有 ☐	無 ☒	資材、機械名 () 場所、範囲 () 搬入条件 ()

項目	明示事項		条件等																
その他	14. 建設キャリアアップシステム (CCUS) 活用工事の適用 (「有」の場合の詳細は建設キャリアアップシステム活用工事実施要領 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/127/194292.htmlによる)	有 ☒	無 ☐	発注方式：受注者希望型															
	15. 工事標示板 (旧：大型工事標示板)		必須	工事内容 (トンネルをなおしています) 工事種別 (トンネル補修工事) 「国土強靱化対策工事」の標示： ☐ 対象 ☒ 対象外 (「対象」の場合は「国土強靱化対策工事(国土強靱化実施中期計画)」であることを明記する)															
	16. 履行報告書の提出 (特に工程管理を要する工事等)	有 ☐	無 ☒	☐ 毎月10日までに前月末時点の進捗を報告 (定点で撮影した写真や詳細工程表の添付は不要) ※本欄で無(提出不要)として場合であっても、契約書(特約条項)において「中間前金払を適用する。」を選択した工事では、請求時までは提出が必要となる。															
	17. 工事材料の品質 ※提示だけではなく提出するもの	有 ☐	無 ☒	☐ 品質規格証明書等の提出 対象材料 () ☐ 見本または品質証明資料を提出し、監督職員の確認を受けて使用するもの 対象材料 () ※材料承諾願とは別の対応として見本等を求めるもの															
	18. 公共工事地産地消推進モデル事業	有 ☐	無 ☒	製品(技術・工法)名 () 開発企業・製造者 () 使用予定数量 ()															
	19. 施設管理台帳の提出	有 ☐	無 ☒	対象施設(構造物)名 () 台帳名称 ()															
	20. 植樹保険	有 ☐	無 ☒	保険対象 ☐ 樹木 () ☐ 地被植物 ()															
	21. 水雷・傷害保険	有 ☐	無 ☒	☐ 水雷保険 対象船種： (〇〇船) ☐ 傷害保険 対象者等： <table><tr><td>保険対象者</td><td>級別</td><td>摘要</td></tr><tr><td>世話役</td><td>B級</td><td>〇〇矢板打設</td></tr><tr><td>とび工</td><td>B級</td><td>〇〇矢板打設</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>B級</td><td>〇〇矢板打設</td></tr><tr><td>潜水土士</td><td>B級</td><td>〇〇矢板打設</td></tr></table>	保険対象者	級別	摘要	世話役	B級	〇〇矢板打設	とび工	B級	〇〇矢板打設	普通作業員	B級	〇〇矢板打設	潜水土士	B級	〇〇矢板打設
	保険対象者	級別	摘要																
	世話役	B級	〇〇矢板打設																
とび工	B級	〇〇矢板打設																	
普通作業員	B級	〇〇矢板打設																	
潜水土士	B級	〇〇矢板打設																	
22. 施工計画書の簡素化 ※「無」の場合であっても監督職員の承諾を得た場合は簡素化できる	有 ☐	無 ☒	☐ 6項目のみ記載したものを提出【簡易な工事】 ☐ 提出不要【簡易な工事かつ緊急工事】 ☐ 15項目記載したものを提出【簡易な工事を含む緊急工事】 提出時期： (〇〇工等の着手前に提出)																
23. 快適トイレの設置	有 ☒	無 ☐	発注方式： ☐ 発注者指定型 ☒ 受注者希望型																
24. その他	有 ☐	無 ☒																	

特 記 仕 様 書

本工事の施工内容は、美郷トンネルの対策を完了させるため、先行して美郷トンネルの補修及び数量の確定を行うこととする。

なお数量については、施工条件書に示す別途発注工事の施工状況を反映するため、内容の追加または減少が生じる恐れがある。

1 見積内容

- ・老朽化したトンネルの剥落対策として施工する FRP メッシュ設置工及び覆工背面の空洞を対象とした裏込注入工の注入孔削孔及び注入管設置。

なお、裏込注入工については「土木工事標準積算基準書（道路編）」によるため、本見積の対象外とする。

2 見積条件等

- （１）施工場所は、山口県岩国市錦町中ノ瀬外 地内 とする。
- （２）見積有効期限は、令和 9 年 3 月 3 1 日まで とする。
提出する見積書には、有効期限を記載すること。
- （３）開示請求があった場合は、山口県情報公開条例第 7 条各号に規定する不開示情報に該当する部分を除き、開示する。
- （４）提出された見積に不明な点がある場合は、問合せを行う場合がある。
- （５）歩掛の見積については、「**3 歩掛見積について**」を参照すること。

3 歩掛見積について

- （１）現場条件、施工条件、予定数量等は、別紙 3 ～ 5 「代価表」及び参考図を参照すること。なお、参考として基本的な項目（労務費、機械経費等）を記載しているが、必要に応じて加除修正をすること。
- （２）今回の見積対象歩掛は、個別で採用する。
- （４）採用した歩掛は公表する。ただし、企業名は公表しない。
公表に支障がある場合は、理由を記載して見積書と併せて提出すること。（任意様式）
- （５）見積に諸雑費を計上する必要がある場合は、その計上は認めるが、諸雑費として計上する内容や諸雑費の根拠（諸雑費の率及び対象となるもの）を明記すること。
- （６）本見積の対象歩掛の積算体系は、「土木工事標準積算基準書（共通編）」によるものとする。

4 その他

- （１）提出された見積書に不明な点がある場合には、確認を行う場合があるため、担当者名と連絡先を記載のこと。
- （２）数量総括表（参考）は予定数量であり、見積結果により変更する場合がある。

見積書(内訳表)

会社名: 0

工 種	規 格 名 称	概算施工数量	単 位	単 価	金 額	日当り施工量	備 考
【施工歩掛】							
トンネル補修工							
FRPメッシュ工		137	m2			_____m2/日	第0001号代価表
注入工削孔	発泡ウレタン(40 倍)	17	孔			_____孔/日	第0002号代価表
注入管設置	発泡ウレタン(40 倍)	17	巧			_____孔/日	第0003号代価表

代価表

FRPメッシュ工

別紙3

第0001号代価表

100 m2 当り						
工種	規格名称	数量	単位	単価	金額	摘要
FRPメッシュ工						
土木一般世話役			人		0	
特殊作業員			人		0	
普通作業員			人		0	
FRPメッシュ	50×50 難燃タイプ ハードメッシュ相当品		m ²		0	見積単価(別途)
コンクリートアンカー	M6×70(SUS)		個		0	見積単価(別途)
固定金具	75×75×1.5(SUS)		枚		0	見積単価(別途)
高所作業車運転	トラック架装 伸縮ブーム プラットフォーム型 作業床高9.9m		日		0	
					0	
諸雑費			%		0	諸雑費の対象範囲を記載
日当たり施工量＝	m2	※参考としたFRPメッシュ工の メーカー名【 工法名【				

※1 上記以外に必要な労務費、機械経費、材料費等があれば、適宜積み上げること。この際、県標準単価等に掲載のない経費を計上する場合は、単価欄にその単価を記載すること。
※2 諸雑費は、機械損料・消耗部品、諸雑費発電機の損料及び消耗品、その他副資材の費用とし、率及び対象とする範囲を記載すること。
※3 FRPメッシュ、コンクリートアンカー、固定金具についてはロス率を考慮下数量を記載することとし、単価については別途調査を予定している。

会社名 0

注入孔削孔	
-------	--

10 孔 当り

工種	規格名称	数量	単位	単価	金額	摘要	備考
注入孔削孔							
土木一般世話役			人		0		
特殊作業員			人		0		
普通作業員			人		0		
高所作業車運転	トラック架装 伸縮ブーム プラットフォーム型 作業床高9.9m		日		0		
					0		
					0		
					0		
					0		
諸雑費			%		0	諸雑費の対象範囲を記載	
日当たり施工量＝_____m2		※参考とした裏込注入工の				メーカー名【 _____ 】 工法名【 _____ 】	

※2 諸雑費は、機械損料・消耗部品、諸雑費発電機の損料及び消耗品、その他副資材の費用とし、率及び対象とする範囲を記載すること。

会社名 0

注入管設置

10 孔 当り

工種	規格名称	数量	単位	単価	金額	摘要	備考
注入管設置							
土木一般世話役			人		0		
特殊作業員			人		0		
普通作業員			人		0		
高所作業車運転	トラック架装 伸縮ブーム プラットフォーム型 作業床高9.9m		日		0		
					0		
					0		
					0		
					0		
諸雑費			%		0	諸雑費の対象範囲を記載	
日当たり施工量＝_____m2		※参考とした裏込注入工の				メーカー名【 _____ 】 工法名【 _____ 】	

※2 諸雑費は、機械損料・消耗部品、諸雑費発電機の損料及び消耗品、その他副資材の費用とし、率及び対象とする範囲を記載すること。

会社名 0